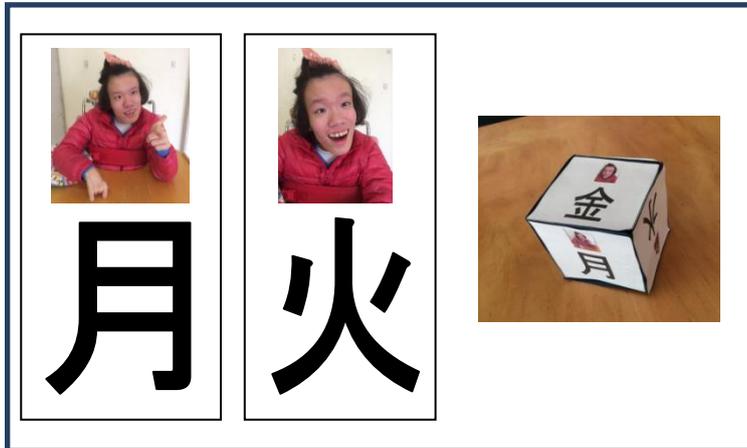


主な使用場面・領域・教科等： 日常生活の指導・国語

<図・写真>



<材料・製作方法等>

- ・ 生徒が覚えやすい体の動きや口の形をした写真を撮影する。それを曜日と合わせてカードにする。  
 月：ゲッツのポーズ  
 火：「か」の口の形  
 水：「す」の口の形  
 木：「も」の口の形  
 金：「き」の口の形  
 土：どすこいポーズ（文字青）  
 日：ピースサインで笑顔（文字赤）
- ・ さいころは、色画用紙を使用している。

<ねらい>

- ・ 曜日を覚えるために、生徒自身の体の動きや表情の写真と一緒にカードにし、曜日の漢字を覚えられるようにした。
- ・ さいころで遊びながら学習することで、主体的に学び、学習効果が高まるようにした。

<指導方法・留意点等>

- ・ 曜日カードは、黒板に掲示し、毎日確認するようにしている。カードを見て分からないときには、教師がそのポーズや口の形をして見せ、生徒が答えられるようにしている。
- ・ さいころは、国語の時間や休み時間に生徒からの希望があったときに使用している。「何が出るかな」と歌を歌いながら転がし、出た目の曜日を答えるゲームをしている。

<指導経過・成果・課題・展望等>

- ・ 月曜日と土曜日は、写真を手掛かりに答えられるようになってきている。その他の曜日については、じっくり写真を見るように言葉を掛けたり、教師がポーズをとったりすることで答えられるようになってきた。その曜日にある学習や「明日は・・・」「昨日は・・・」など言葉を付けながら確認することでより生活に即したものになればと考えている。
- ・ さいころは、「何が出るかな」と歌うのが好きなようで、休み時間に自分からさいころを使いたいと言って、遊んでいる。興味をもって使うことができているので、今後は、さいころを使用したゲームを考えていきたい。（すごろく・ビンゴゲームなど）
- ・ 曜日を見て分かるようになることで、自分のスケジュールの把握ができるようになり、生活に見通しをもてるようになるのではないかと考える。

